

事業所における自己評価総括表

○事業所名	I COPAキッズ西落合		
○保護者評価実施期間	2025年 4月 1日		～ 2026年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	2025年 4月 1日		～ 2026年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	重心児の自児発としては、預かり時間が長いので、保護者の就労支援として、また、レスパイトとしての保護者支援の強化ができる。	一人ひとりの個性性を大切に、児童の特性やその日の状態に応じた関わりを行っている。また、家庭での過ごし方に近い環境づくりを意識し、安心して落ち着いて過ごせるよう配慮している。	一人ひとりの特性や医療的ケアの必要性に応じた支援の質をさらに高めるため、職員間での情報共有やケース検討を充実させていく。
2	入浴支援も行っているため、生活の支援に合わせて、入浴を“リハビリ・感覚刺激”として活用することができる。	少人数制を活かし、一人ひとりと丁寧に時間を確保し、医療的ケアや体調の変化に配慮し、その日の状態に応じて活動内容や過ごし方を柔軟に調整している。	保護者との連携をより強化し、家庭での関わりと一貫した支援が行えるよう努める。さらに、医療・リハビリ等の関係機関との連携を深め、生活全体を支える支援体制の充実を図っていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	預かり時間が長いことから、勤務時間内に職員間で十分な情報共有やケース検討の時間を確保することが難しい状況にある。	長時間の預かり体制により、職員が支援に入る時間が多く、勤務時間内に情報共有やケース検討の時間を確保しにくい体制となっていることが要因と考えられる。	職員間の情報共有やケース検討の時間を確保するため、業務の見直しや時間設定の工夫を行い、短時間でも定期的に共有の機会を設ける。 あわせて、職員研修や振り返りの機会を設け、継続的な支援の改善に取り組んでいく。
2	マニュアルが開所当時のままとなっており、現在の支援内容や実態と乖離している部分があるため、見直し・改善が必要である。	マニュアルについては開所当初の内容のままとなっており、定期的な見直し・更新の機会が十分に設けられていなかったことから、現場の実態との乖離が生じている。	マニュアルについては現場の実態に即した内容となるよう見直しを行い、職員間で共有しながら定期的に更新する仕組みを構築することで、支援の標準化と質の向上につなげていく。
3			

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 I COPAキッズ西落合

公表日 2026年 4月 17日

利用児童数 2026年 3月 31日

回収数 9

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9							
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	8			1		当事業所では基準に基づいた適切な職員配置を行い、安全かつ安心できる支援体制を確保しております。引き続き、体制に関する情報提供の充実にも努めてまいります。		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8				1		こどもにとって分かりやすい環境構成や、障害特性に応じた設備・情報伝達への配慮を行っております。また、新宿区よりユニバーサルデザインまちづくり条例の遵守基準に適合しているとの評価を受けております。今後は、取り組み内容の周知・説明の充実にも努めてまいります。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	9							
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9							
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	9							
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	9							
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8				1		児童発達支援ガイドラインに基づき、「本人支援」「家族支援」「移行支援」の視点を踏まえた適切な支援計画の作成を行っております。今後は、計画内容に関する説明・周知の充実にも努めてまいります。	
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	8				1		個別支援計画と日々の支援の関連性についても、より分かりやすくお伝えできるよう努めてまいります。	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9							
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	6				3	・あゆみの家との交流はあるが、その他はわからない	近隣の新宿こども保育園との交流を計画しておりますが、感染症の影響により延期となっております。今後は、安全面に配慮しながら、今後も交流機会の実施に向けて取り組んでまいります。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8				1		契約時に重要事項説明書や支援内容、利用者負担等について説明の機会を設けておりますが、今後は、説明内容や方法について、より一層ご理解いただけるよう工夫してまいります。	
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9							
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7				2		現時点において家族支援プログラム等の体系的な実施には至っておりません。今後は、職員の専門性向上を目的とした講習受講を進めるとともに、家族支援プログラムや研修会の実施に向けて体制整備を進めてまいります。	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	9							
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8					1		定期的な面談は実施しておりますが、必要に応じて面談や子育てに関する助言等の支援をいたします。今後は、支援の実施状況がより伝わるよう説明の工夫にも努めてまいります。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9							
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6				3	・兄弟向けのイベントはわからない	きょうだいの参加できる機会の提供に努めておりますが、きょうだい向けのイベントは実施できておりません。今後は、保護者同士およびきょうだい同士の交流機会の充実に向けて取り組んでまいります。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8			1	相談や申入れに対応する体制を整備し、日常的に相談しやすい環境づくりに努めるとともに、内容に応じて迅速かつ適切な対応を行っております。今後は、相談窓口や対応体制について、より分かりやすく周知できるよう取り組んでまいります。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	9				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8			1	当事業所では、個人情報の適切な取扱いに十分留意し、管理の徹底に努めております。今後は、その取り組みについての周知の工夫を図ってまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8			1	当事業所では、各種マニュアルの整備に加え、避難訓練の実施や感染症対策委員会の設置等を通じて安全対策に取り組んでおります。今後は、これらの内容についての周知の工夫を図ってまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7			2	非常災害に備え、定期的に避難訓練を実施しております。また、モニタリング時には災害時の備えとして非常食等の確認も行っております。今後は、これらの取り組みについて、より分かりやすく周知できるよう努めてまいります。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8			1	当事業所では、安全確保に関する計画に基づき、十分に配慮した支援を行っております。今後は、安心してご利用いただける環境づくりに努めてまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7			2	事故等が発生した際には速やかに保護者へ連絡を行うとともに、状況や対応について丁寧に説明するよう努めております。実施状況について適切に共有できるよう取り組んでまいります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	9				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	9				
	29	事業所の支援に満足していますか。	9				

事業所における自己評価結果

事業所名		I COPAキッズ西落合		公表日		年 月 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5			壁など保護されていない部分の保護が必要 今後、医療機器を使用する児童が増えるため、安全確保のため、動線を分けるなどの改善が必要	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	2	児童1人に対して、1人以上の職員配置ができています	医ケア児や年齢が下がることで1対1の対応が必要。リハスタッフが不足。 安全にお預かりするのが大変な人数だと思ふ。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		不潔用の水回りがあればいいと思うが、ビニール袋を用いて、汚れたものを消毒する工夫をしている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		季節の飾りで雰囲気が良い。	毎日清掃しているが、フロアマットの汚れが気になる。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		発熱など他の児童と別室で過ごせるようにしている。 目隠しの低い囲いを使用している。	個別の部屋はあるが、人がいない為対応できない。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか。	2	3		ミーティングがない	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	送迎時に話した内容や、連絡帳を通じて、保護者との意見交換をしている。	ミーティングがない	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	2		しっかりと話し合える時間が取れていない。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5		実感として、つなげられているかわからない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	1	福祉職員として、仕事に向き合う姿勢など根本的なものの研修を毎月法人で入れている。 重心児施設においての研修を外部講師を招いて行った。	研修はあるが業務にあったものがない。 向上のための受講を申し出れば受け入れてもらえるが、現場の人数を考えると申し出にくい。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	1	スタッフで意見交換して作成されている		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4	1	スタッフで意見交換して作成されている		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		スタッフで意見交換して作成されている	話す時間が取れていないため、しっかりと出来ていない。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	1		スタッフ不足により業務をこなすことで終わってしまふ、共有する工夫が必要。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1		現状あるものを手直しする必要があると思ふ	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5				

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5			固定化しつつある	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5				
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5				
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5				
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	1			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	2			わからない
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5				
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5				
	28	(28～30は、センターのみ回答)					
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答)					
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		5			
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		5			交流の機会が延期になり、その後すめられていない。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5					
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		5				
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	1			理解されていない保護者もいるかもしれないのでわからない。	
	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5					

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5				
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			夏祭りのみ。その他保護者が必要。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		5			
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5				
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5				
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5				
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5				
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4			
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	1	3	これから作成していきます。	家族への周知が必要。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	1	避難訓練はしている	作成されているが見たことがない。 実施できていない	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5				
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5				
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5				
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	1	4		家族へ周知されているかわからない。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		当日休みの職員も共有できるように、口頭でも伝えるようにしている。		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		毎年、研修受講をしている。		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5		バギーなどのベルトをする必要がある際は、個別支援計画に入れ説明を行っている。		